

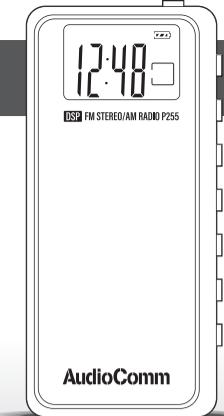
保証書付

## 取扱説明書

## デジタル選局ライターラジオ P255

型番：RAD-P255N

品番：03-7234



このたびは、AudioComm®デジタル選局ライターラジオ P255をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただきたくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

## 免責事項

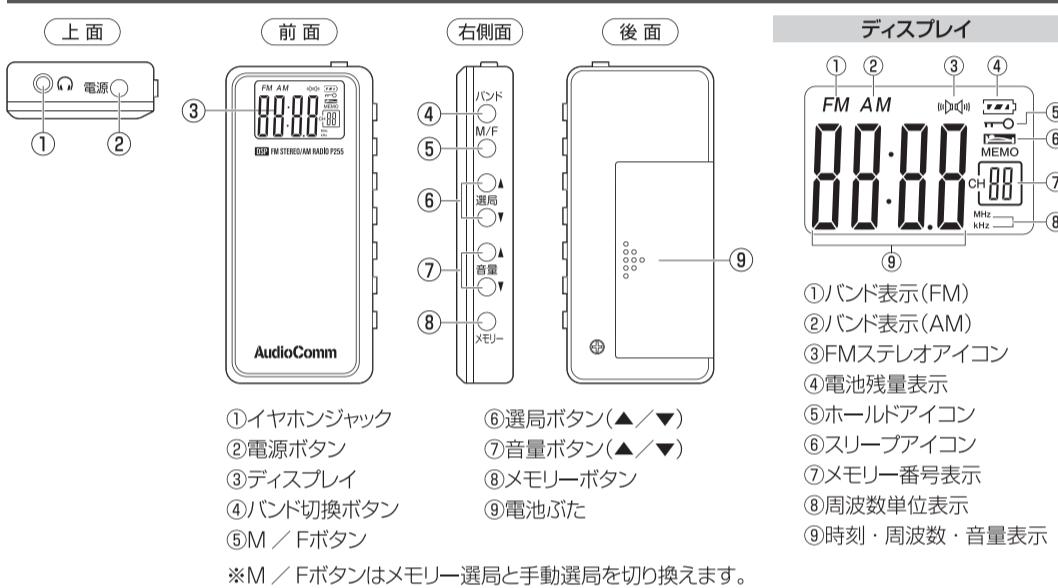
下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にびりびりと痛みを感じることがあります。これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

## 各部の名称

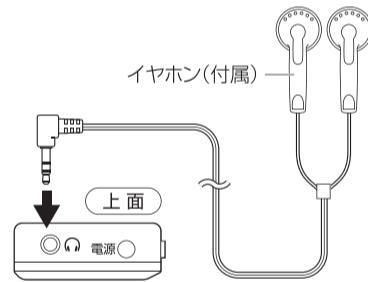


※M / Fボタンはメモリー選局と手動選局を切り替えます。

## 本機を使うときは

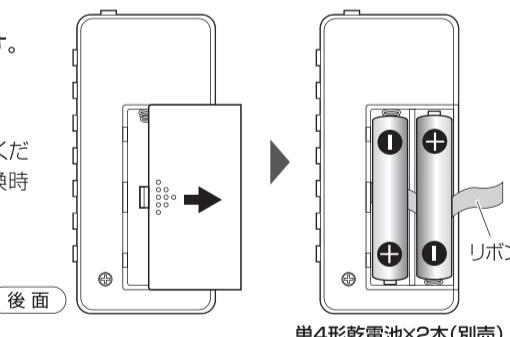
本機はスピーカーを搭載しておりません。  
ご使用時は必ずイヤホンを接続してください。

- FM放送を聞くときは、イヤホンコードがFMアンテナの役割も兼ねています。できるだけ伸ばした状態でお使いください。
- イヤホンプラグを抜き差しするときは、必ずプラグ部を持って丁寧に行ってください。コードを引っ張ったり、強い衝撃を加えると、破損や故障の原因になります。



## 乾電池の入れかた

1 電池ぶたの<sup>○</sup>部を押しながら矢印の方向にスライドさせて、電池ぶたを取り外します。



2 単4形乾電池×2本(別売)を、<sup>+</sup>と<sup>-</sup>の向きに注意しながら正しく入れます。

コイルバネのあるほうが<sup>+</sup>です。<sup>+</sup>側から先に入れてください。また、リボンの上から入れると、次の乾電池交換時に便利です。

3 電池ぶたを元どおりにしっかりと閉めます。

- アルカリ乾電池をお使いください。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。
- ディスプレイの電池残量は下図のとおり表示されます。少なくなったら早めに新しい乾電池と交換してください。

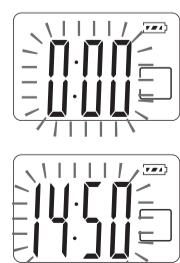


●電源を入れた直後に<sup>■■</sup>(残量あり)と表示されても、少し時間が経つと残量表示が減ったり、電源が切れてしまう場合は、乾電池の残量が少ないか空になっています。新しい乾電池と交換してください。

## 時刻設定のしかた

電源が切れた状態で操作してください。

- 1 M / Fボタンを長押しする。  
●ディスプレイの時刻表示が点滅します。
- 2 選局ボタン(▲/▼)を押して時刻を合わせます。  
●本機の時刻表示は24時間形式です。  
●選局ボタン(▲)を押すと「時」が増加し、選局ボタン(▼)を押すと「分」が増加します。  
●どちらのボタンも長押しすると数字が速く送られます。
- 3 M / Fボタンを押すと設定が確定し、点滅が止まります。



●何も操作しない状態が約7秒間続くと、その時点で時刻が確定し、点滅が止まります。必要に応じて設定し直してください。

●乾電池を交換した後など時刻が正しくない場合は、設定し直してください。

## 安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

## 警告

以下を無視して誤った取り扱いをすると、

人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機から乾電池を取り外す  
・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。  
・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する  
・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
・販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 本機を分解、修理、改造しない  
・火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用中に雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する  
・落雷や感電の原因となります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない  
・感電や故障の原因となります。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない  
・交通事故の原因になります。  
・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する  
・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

## 注意

以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えることがありますので十分ご注意ください。

- 乾電池を挿入するときは極性表示(プラス<sup>+</sup>とマイナス<sup>-</sup>の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる  
・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例:アルカリとマンガン)と一緒に使わない  
・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない  
・落下による故障やけがの原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない  
・故障の原因となることがあります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す  
・火災・液もれの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かない  
・火災・感電の原因となることがあります。
- はじめから音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けない  
・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。
- 落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない  
・故障や破損の原因になることがあります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない  
・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。

- 乾電池を安全にお使いいただくために 液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。
- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

## 保証書

## 持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
  - (ロ) 買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
  - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ) 本書のご提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
  - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	デジタル選局ライターラジオ P255			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	RAD-P255N	品番	03-7234	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前			
	★ご住所 〒	様		
販売店	電話	( )		

## 修理メモ

★住所 店名 電話

印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、了承ください。

○HIN株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは  
0120-963-006 048-992-2735

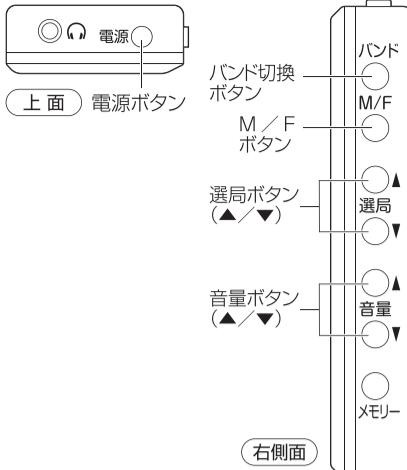
電話受付 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

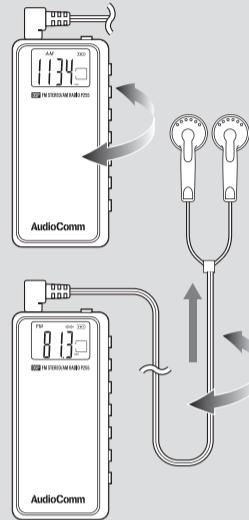
## ラジオを聴く(基本操作・手動選局)

ラジオを聴くときは、必ずイヤホンを接続してください。



### 受信状態を良くするには

- AM放送の場合  
本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。



- FM放送の受信  
イヤホンコードができるだけ伸ばし、最もよく聞こえる方向に動かしてください(イヤホンコードがアンテナを兼用しています)。

※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してお使いください。

## 故障かなと思ったら

### 電源が入らない

- 乾電池の向きは正しいですか。
- 乾電池が消耗していませんか。
- ホールド機能が有効になっていませんか。
- イヤホンを接続していますか。
- プラグが正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。
- 音量が最小になっていますか。
- 電源は入っていますか。
- 正しく選局されていますか。
- 乾電池が消耗していませんか。
- 乾電池が消耗していませんか。
- イヤホンコードを伸ばして使っていませんか。FM放送受信時はイヤホンコードがアンテナの機能を兼用しています。できるだけ伸ばした状態で使用してください。
- 近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。
- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。
- 手動メモリー登録の後に自動メモリー登録をした、などにより上書きされてしまっていますか。もう一度設定し直してください。
- 乾電池の交換などにより、登録内容が破棄された可能性があります。もう一度設定し直してみてください。
- 登録した地域と違う場所で使っていませんか。地域が異なる場合は再設定が必要です。
- 乾電池の消耗が考えられます。新しい乾電池と交換してください。

### 音が出ない／音が小さい

### メモリー登録した放送局を受信できない

### ディスプレイ表示が薄い

## 主な仕様

電 源	DC3V 単4形乾電池×2本(別売)
受 信 周 波 数	AM 522—1620kHz FM 76—108MHz
乾電池持続時間	AM 約40時間 FM 約36時間
接 続 端 子	イヤホン端子(Φ3.5mmステレオミニジャック)
外 形 尺 法	幅39.3×高さ83.8×奥行14.8mm(突起物含まず)
質 量	約30g(乾電池含まず)
付 属 品	ステレオイヤホン、保証書付取扱説明書

※乾電池持続時間はアルカリ乾電池新規品使用時。JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。  
※外観、仕様は予告なく変更することがあります。  
※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

## お手入れのしかた

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



必ず電源が切れた状態で行なってください。

## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついており、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

## 自動メモリー登録

本機はATS機能(オートスキャン機能)を搭載しており、お使いの地域(場所)で受信可能な放送局を一括して自動登録することができます。AM放送・FM放送それぞれ最大30局まで登録できます。

### 登録のしかた

- 1 登録したいバンド(AM放送またはFM放送)を受信します。

- 2 メモリーボタンを長押しします。

- 「MEMO」が点滅しながら周波数が自動で送られ、受信可能な放送局が見つかるとメモリーパン号「0」から順に登録されていきます。
- 自動メモリー登録が終わると、いちばん最初に登録された放送局を受信します。

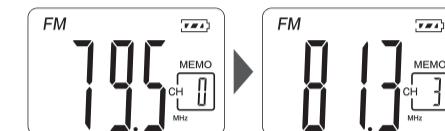


### 登録した放送局を受信するには(メモリー選局)

- 1 M/Fボタンを押してメモリーパン号を表示させます。

- 2 選局ボタン(▲/▼)を押して、選局します。

- 周波数表示とメモリーパン号を確認しながら選局してください。



- できるだけ電波環境の良い場所で行ってください。また、お使いの地域や場所が変わった場合は、登録し直してください。
- 自動メモリーで登録した内容を、手動メモリーにより上書きすることはできませんが、消去することはできません。また、手動メモリーですでに任意の放送局が登録されている場合、自動メモリー登録を行なうと内容が上書きされることがありますのでご注意ください。
- 乾電池を抜いてしばらく放置すると、登録内容が破棄されることがあります。必要に応じて改めて登録し直してください。

## 手動メモリー登録

普段よく聴く放送局を任意の番号に登録することができます。AM放送・FM放送それぞれ最大30局まで登録できます。ディスプレイにメモリーパン号が表示されているときは、M/Fボタンを押して表示を消した後、以下の操作をしてください。

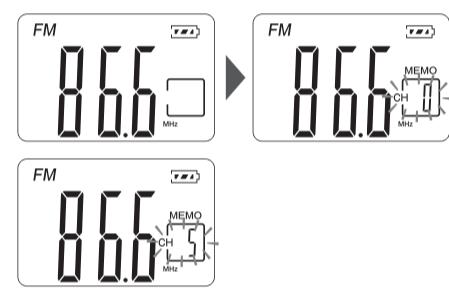
### 登録のしかた

- 1 登録したい放送局を受信している状態で、メモリーボタンを押します。

- 「MEMO」が表示され、「CH」とメモリーパン号が点滅しますので、点滅している間に②の操作をしてください。

- 2 選局ボタン(▲/▼)を押して、登録したいメモリーパン号を選びます。

- 登録が完了すると、「MEMO」、「CH」とメモリーパン号が消えます。



### 登録した放送局を受信するには(メモリー選局)

手動登録した放送局の選局方法は自動メモリー登録と同じです。

- 何も操作しない状態が約7秒間続くと、登録操作がキャンセルされます(「CH」とメモリーパン号の点滅が止まります)。必要に応じて最初からやり直してください。

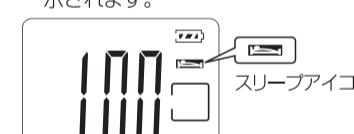
## スリープ機能

電源が入っているときは、電源ボタンを押して電源を切つながら以下の操作をしてください。



- 1 電源が切れている状態で、電源ボタンを長押しします。

- ディスプレイにスリープアイコンが表示され、「100」(電源が切れるまでの時間)が表示されます。



- 2 そのまま押し続けて、設定したい時間が表示されたら指を離します。

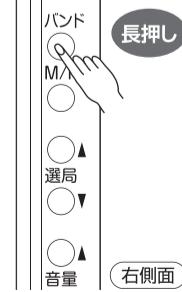
- 「100」から「90」、「80」…と10分刻みで変化します。指を離すと設定時間が2回点滅した後、電源が入ります。



- スリープ機能を解除するには、電源ボタンを押して電源を切つください。

## ホールド機能

バンド切換ボタンを長押しするとホールド機能が有効になり、ボタン操作ができなくなります。ポケットやかばんに入っているときに誤操作を防ぐことができます。



- 1 ホールドアイコン

- ホールド機能が有効なときは、ホールドアイコンが表示されます。



## ワイドFM(FM補完放送)について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。